

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	マイナンバー制度導入事業		担当部署	企画総務部 総務課 情報化推進室 関係各課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	5	ICTを活用した行政運営の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 個人番号利用事務担当課						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	マイナンバー制度に対応した情報システムの活用により、社会保障や税制度の効率性を高め、行政運営の効率化を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	平成29年7月から予定されている、マイナンバーを用いた、国や地方公共団体間の情報連携に向け、業務疎通確認や総合運用テスト等を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		全体システム対応工程に対する達成率	75	91	100			%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国の示したタイムスケジュールに従い、団体内連携テストやテスト環境を用いて実際にマイナンバーを用いた情報連携等を行う、総合運用テスト(情報照会テスト・情報提供テスト)を行った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	完了したシステム対応工程数	4.5	1	0.5		工程
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	全体システム対応工程に対する達成率		75	91	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	19,806	19,806
		補正予算額		6,890	0	0	0	△ 4,412	2,478
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		6,890	0	0	0	15,394	22,284
		決算額		6,890	0	0	0	13,862	20,752
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.0	0.0	0		20,752			

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	53,349	20,752	5,882	未定	未定
	うち一般財源	19,643	13,862	5,882		
	人件費	0	0	0		
	総事業費	53,349	20,752	5,882		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		平成29年7月から予定されている公共団体間の情報連携に向け、平成28年度に予定していた連携テストや総合運用テストは計画通り進めることができた。
	効率性	A:効率的だった		マイナンバー制度に係るすべてのシステム改修等については、情報部門において全庁的な視点で、一元的に見積内容等の精査を行うなど、効率的な体制が構築できた。
②成果に対する評価	指標名	全体システム対応工程に対する達成率		国の示したスケジュール通り、平成28年度に予定していた連携テストや総合運用テストは全て計画どおり完了した。
	目標	91	%	
	実績	91	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		国の示したスケジュールに遅れることなく、平成28年度に予定していた連携テストや総合運用テストについては、全て計画どおり、順調に進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成29年7月から予定されている国や地方公共団体間の情報連携開始に向け、最終テストや初期副本データの登録等を確実に進めていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	平成29年7月から予定されている国や地方公共団体間の情報連携開始に向け、最終テストや初期副本データの登録等を確実に進めていく。			
	H30年度	未定			